



# 全教北九州

新聞 全教北九州  
全教北九州市教職員組合  
発行責任者 中川喜久子  
2020.6.29

全教北九州

検索

2020春闘交渉特集

この新聞はすべての教職員に配布しています

## 教職員の生活といのち・健康を守るための真摯な対応と 具体的な施策の実行を要求

### 2020年度春闘交渉

6月19日(金)、全教北九州市教職員組合は、北九州市教育委員会と春闘交渉を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初の予定より一カ月遅れました。  
今回の交渉では論点を絞り、教職員の賃金・待遇と人事評価の二点について要求や意見の交換を行いました。

(要求書の内容は、組合ホームページをご覧ください。)

#### 教職員の賃金・待遇の改善、 充実について

新型コロナウイルスにより景気は著しく悪化しているなか、公務員の賃金引下げは景気をさらに落ち込ませることにつながります。また、新型コロナウイルス感染症対応、「新しい生活様式」下での教育課程の編成や実践などで教職員の負担も増加しています。すべての教職員に労働の対価としての賃金を維持することを要求しました。

また、今年度より会計年度任用職員となった学校支援講師の賃金が、月額制から日額制への変更により賃金の低下が危惧されます。年収の変化を注視し、下がるようであれば従来の月額制に戻すことを要求します。

雇用確保の観点からも、労働条件を含めた会計年度任用職員や常勤講師などの待遇改善は必要です。

#### 教職員の人事評価について

人事評価の賃金リンク導入については、これまでも反対してきました。

学校教育は利潤追求を目的とする企業とは違います。この制度の導入は、教職員に不満や分断・格差を生み教育活動の停滞にもつながります。学校には馴染まない賃金リンク導入は絶対に反対です。

現在、主幹教諭・指導教諭・期末手当の職務段階別加算が8%対象職員(主に55歳以上)に対し、今年度から人事評価が翌年の期末手当の支給額に反映されることはあまり周知されていません。

教育委員会に対し、教職員に賃金リンクを周知するとともに、教職員全体に制度を拡大しないように要求しました。

#### 新型コロナウイルス感染症対策についても交渉

教室での新型コロナウイルス感染症への対策を行うなかで、20人学級が子どもたちへの目が行き届き、ちょうどいい学級規模と感じた先生も多数いたと思います。

ピンチをチャンスに！これをきっかけに、少人数学級の拡大を今こそ進め、子どもたちに豊かな学びを保障しましょう。また、少人数学級実現で教員の長時間過密労働の解消、「働き方改革」推進も図るべきです。

#### 教育課程について

— 教育課程の実施について、今年度未だに終了できるのかという不安が現場にあるがどうか。

指導一課からは、今のペースでいけば3月に終了できると聞いている。コロナ陽性者が出た時の休校に要する期間も専門家等の意見により短くなってきた。今後、冬場になってからの感染状況により終了の見通しが持てない時は、再度委員会の判断を職場に伝える。

#### 教育委員会の指示が遅い

— 教育委員会からの指示が遅く、教職員への周知、子どもたちへの指導が下校に間に合わない等、現場が混乱した。改善の方策は。

少しでも早くと、夕方や夜に連絡を入れていますが、スケジュール的には現場の皆さんにご迷惑をかけていると思っています。

#### 給食の配膳・配食について

— 現場の実態を考慮し、実情に合った方策の提起をお願いしたい。

委員会も諸々の方策を検証しながらガイドラインを出している。ガイドラインに加えて、各学校でも児童生徒の実態に応じた方策を検討し、工夫もしてほしい。  
本来の業務以外の負担について

— 校内の消毒作業や、特別支援学校でのスクールバス乗務員補助などで、教員本来の業務ではない業務が増えているがいかがなものか。

6月議会で補正予算が組まれ、業務補助員は当面8月までは雇用できるようになった。今後は補助員の確保に努め全校配置できるようにしたい。

# 北九州市人事委員会に 要求書を提出

## 長時間労働是正や賃金改善などで成果!!

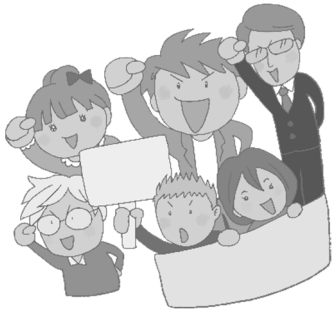
6月15日(月)、北九州市人事委員会に「北九州市教職員の賃金・労働条件等の改善を求める要請書」を提出しました。

これまで、組合は俱費職員当時の給与等の待遇を回復、改善させる要請や長時間過密労働などに関する労働条件改善・働き方改革推進を求める要請を人事委員会に行ってきました。

その成果もあり、長時間勤務是正の勧告や一部賃金の改善など具体的成果を勝ちとることができました。

本年度の要請では、労働実態と賃金が見合っていない状況の中、実態に応じた賃金改善を勧告するよう人事委員会に求めています。また、臨時教職員の処遇改善や、病気と仕事の両立支援などについても要請しています。

(要求書の内容は、組合ホームページをご覧ください。)



# 採用試験対策講座 「鷹の爪」ごあんない

これまでの採用試験対策講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの開催でした。

公共施設の貸し出しが再開されましたので7月からは、会場を戸畑生涯学習センターに移し講座を行います。感染防止には万全の対策を図ります。

## 今年度試験では集団討議が復活

今年度の採用試験は、3密を避けるために一次試験がありません。その代わりに集団討議が久しぶりに復活します。

集団討議を経験したことがあるベテラン教員の体験を聞くことができる今回の講座は、受験生にとって重要な学習の場となります。ぜひご参加ください。

日時  
7月18日(土)  
10時から12時(予定)

場所  
戸畑生涯学習センター  
第2会議室  
(戸畑区中本町7番20号  
「ウェル戸畑」の向かい側)

# 予備費の1兆円で20人学級可能

## 「教育予算をふやしてかがやけーみんなのえがお」署名今年からはネットでも署名の取り組みを開始

学校の再開で子どもたちが先生や友だちとの再会を喜び、一方で、学校での「新たな生活様式」への対応、感染症対策で先生もますます忙しくなっています。

しかし、新型コロナウイルス感染症対策として文部科学省が示す、教室での子ども同士の身体的距離(最低1メートル)を満たせない学校・学級があることは明らかです。

今回二次補正予算予備費10兆円のうち1兆円で教員を10万人増やし、20人学級の実現も可能になります。

全日本教職員組合(全教)・教組共闘連絡会・子ども全国センターは共同で、教育の無償化推進、早期の35人学級実現、教職員定数の抜本的改善、長時間

勤務解消、特別支援学級の編成標準6人への改善などを求める署名(「えがお署名」)に毎年取り組んでいます。

全教北九州も毎年「えがお署名」に取り組んでいます。みなさまのご協力よろしく願っています。

「えがお署名」で、私たちの声を政府に届けましょう。今年からはネットでも署名ができるようになりました。

※署名用紙は、全教または組合のホームページでもダウンロードできます。

**教育予算をふやして(♡)かがやけ!みんなのえがお**  
教育の無償化! 35人学級の前進! せんせいふやそう!

教職員定数の抜本的改善を  
「1年単位の定形労働時間制」ではなく、  
「やばい!せんせいふやそう」

学校は児童の安全と健康の確保が第一である。それにより、各教科の授業が実施され、学習の機会が確保されている。児童の安全と健康の確保が第一である。それにより、各教科の授業が実施され、学習の機会が確保されている。

(※)学校に「1年単位の定形労働時間制」を導入されると……

項目	導入前	導入後
1人当りの労働時間	約1800分	約1500分
1人当りの労働コスト	約1800円	約1500円
1人当りの労働生産性	約100%	約150%

国の責任で少人数学級の前進を

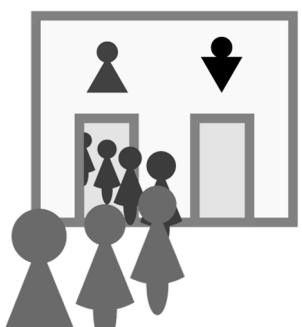
教育予算をOECD並みに増やせば可能です  
OECD加盟国の教育支出の対GDP比(2016年)

全日本教職員組合(全教)・教組共闘連絡会・子ども全国センター  
〒102-0084 東京都千代田区2番町1-2-1 全国教育文化会館3F 全教  
TEL: (03)5211-0123 FAX: (03)5211-0124 e-mail: zenkyo@educas.jp

←ネット「えがお署名」はこちらから  
(change.org)で行っています。)

よく見ると、倦厭されているところが。そうです。和式トイレです。今、学校のトイレは順次洋式に改修しているようですが、和式もかなり残っています。少なくとも低学年のトイレは改修を急いでもらいたいです。

# 新1年生の女子トイレ に子どもの大行列 トイレの改修を急いで



分散登校も終わり、6月19日から久しぶりに全員登校できるようになりました。学校では、子どもたちの元気な声(今は小さな声ですが)が校舎に響いています。

新1年生も大きなランドセルを背負い、まだなれない学校にお兄ちゃん、お姉ちゃんの手をつなぎ登校する姿が見られます。ようやく日常に一步步近づいてきたという印象です。

さて、休み時間に一年生が使う女子便所の前に長い行列ができていました。ソーシャルディスタンスには長すぎます。